

平成 2 8 年度

財務諸表

第 4 期事業年度決算

自 平成 2 8 年 4 月 1 日

至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

公立大学法人 秋田公立美術大学

## 目 次

I	貸 借 対 照 表	…1
II	損 益 計 算 書	…2
III	キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー 計 算 書	…3
IV	損 失 の 処 理 に 関 す る 書 類	…4
V	行 政 サ ー ビ ス 実 施 コ ス ト 計 算 書	…5
VI	注 記 事 項 書	…6
VII	附 属 明 細 書	…9
	1. 固定資産の取得及び処分、減価償却費の明細表（「第85 特 定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却 相当額も含む。）並びに減損損失の明細	…9
	2. たな卸資産の明細	…10
	3. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細	…10
	4. 資本金及び資本剰余金の明細	…11
	5. 積立金等の明細及び目的積立金の取り崩しの明細	…12
	6. 運営費交付金債務及び運営費交付金収益の明細	…13
	7. 運営費交付金以外の地方公共団体等からの財源措置の明細	…14
	8. 役員及び教職員の給与の明細	…16
	9. 業務費及び一般管理費の明細	…17
	10. 寄附金の明細	…19
	11. 受託研究の明細	…19
	12. 受託事業等の明細	…19
	13. 科学研究費補助金の明細	…19
	14. 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	…19
	① 現金及び預金の明細	…20
	② 未収金の明細	
	③ 資産見返物品受贈額の明細	
	④ 未払金の明細	
	⑤ 預り金の明細	

# 貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債及び純資産の部	
(資産の部)		(負債の部)	
I 固定資産		I 固定負債	
1 有形固定資産		資産見返負債	
土地	645,000,000	資産見返運営費交付金等	35,346,623
建物	3,991,384,144	資産見返補助金等	69,220,421
減価償却累計額	△ 597,301,035	資産見返寄附金	11,933,167
構築物	26,308,489	資産見返物品受贈額	217,172,952
減価償却累計額	△ 1,655,633	長期未払金	
機械装置	24,843,744	リース債務	36,222,192
減価償却累計額	△ 6,628,589	固定負債合計	369,895,355
工具器具備品	207,188,768	II 流動負債	
減価償却累計額	△ 132,906,538	未払金	608,722,291
図書	233,690,435	未払消費税	133,200
美術品・收藏品	47,187,931	預り金	25,544,089
車輛運搬具	2,205,000	預り科学研究費補助金等	741,977
減価償却累計額	△ 2,204,999	リース債務	23,565,994
有形固定資産合計	4,437,111,717	流動負債合計	658,707,551
2 無形固定資産		負債合計	1,028,602,906
ソフトウェア	3,353,704	(純資産の部)	
無形固定資産合計	3,353,704	I 資本金	
3 投資その他の資産		地方公共団体出資金	3,608,210,000
敷金・保証金	85,000	資本金合計	3,608,210,000
投資その他の資産合計	85,000	II 資本剰余金	
固定資産合計	4,440,550,421	資本剰余金	1,033,323,407
II 流動資産		損益外減価償却累計額	△ 591,167,670
現金及び預金	134,492,929	資本剰余金合計	442,155,737
未収入金	558,343,123	III 利益剰余金	
たな卸資産	18,467	教育研究の質の向上および	
その他流動資産	724,333	組織運営の改善目的積立金	58,878,407
流動資産合計	693,578,852	当期未処理損失	△ 3,717,777
		(うち当期総損失)	(△3,717,777)
		利益剰余金合計	55,160,630
		純資産合計	4,105,526,367
資産合計	5,134,129,273	負債純資産合計	5,134,129,273

# 損益計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:円)

経常費用		
業務費		
教育経費	255,229,827	
研究経費	52,013,742	
教育研究支援経費	45,139,319	
受託研究費	13,168,767	
受託事業費	5,106,644	
役員人件費	64,957,060	
教員人件費	531,485,605	
職員人件費	241,503,670	1,208,604,634
一般管理費		67,373,381
財務費用		
支払利息	1,886,046	1,886,046
経常費用合計		1,277,864,061
経常収益		
運営費交付金収益		840,276,749
授業料収益		217,687,835
入学金収益		46,981,200
検定料収益		5,901,600
受託研究等収益		14,369,000
受託事業等収益		6,104,575
寄附金収益		200,000
補助金等収益		20,511,994
施設費収益		94,444,270
資産見返負債戻入		
資産見返運営費交付金等戻入	1,849,354	
資産見返補助金等戻入	5,205,068	
資産見返物品受贈額戻入	4,559,413	11,613,835
財務収益		
受取利息	760	760
雑益		
財産貸付料等収入	2,104,497	
講習料収入	1,302,320	
手数料収入	37,630	
科学研究費補助金間接経費収入	1,281,000	
その他雑益	2,227,110	6,952,557
経常収益合計		1,265,044,375
経常損失		12,819,686
臨時損失		
固定資産除却損	3,037,910	3,037,910
臨時利益		
資産見返補助金戻入	3,037,910	3,037,910
当期純損失		12,819,686
目的積立金取崩額		9,101,909
当期総損失		3,717,777

# キャッシュ・フロー計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	教育研究関連業務支出	△ 262,855,179
	人件費支出	△ 811,411,054
	その他の業務支出	△ 60,957,655
	運営費交付金収入	846,931,000
	授業料収入	214,073,625
	入学金収入	46,981,200
	検定料収入	5,901,600
	講習料収入	1,302,320
	受託研究等収入	14,369,000
	受託事業等収入	6,917,446
	補助金等収入	13,008,212
	寄附金収入	200,000
	その他の業務収入	3,057,853
	預り金の増減	2,498,581
	業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>20,016,949</u>
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 405,457,784
	施設費による収入	420,152,920
	小計	<u>14,695,136</u>
	利息及び配当金の受領額	760
	投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>14,695,896</u>
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	リース債務返済による支出	△ 30,487,106
	小計	<u>△ 30,487,106</u>
	利息の支払額	△ 1,945,840
	財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 32,432,946</u>
IV	資金に係る換算差額	-
V	資金増加額	2,279,899
VI	資金期首残高	132,213,030
VII	資金期末残高	<u>134,492,929</u>

# 損失の処理に関する書類(案)

(平成29年 月 日)

		(単位:円)
I 当期未処理損失		3,717,777
当期総損失	3,717,777	
II 損失処理額		3,717,777
教育研究の質の向上および 組織運営の改善目的積立金取崩額	3,717,777	
III 次期繰越欠損金		<u>0</u>

行政サービス実施コスト計算書  
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：円)

I 業務費用		
1 損益計算書上の費用		
業務費	1,208,604,634	
一般管理費	67,373,381	
財務費用	1,886,046	1,277,864,061
2 (控除) 自己収入等		
授業料収益	△ 217,687,835	
入学金収益	△ 46,981,200	
検定料収益	△ 5,901,600	
受託研究等収益	△ 14,369,000	
受託事業等収益	△ 6,104,575	
寄付金収益	△ 200,000	
資産見返授業料戻入	△ 1,101,244	
財務収益	△ 760	
雑益	△ 5,671,557	△ 298,017,771
業務費用合計		979,846,290
II 損益外減価償却相当額		
		97,296,460
III 損益外減損損失相当額		
		-
IV 損益外利息費用相当額		
		-
V 損益外除売却差額相当額		
		170,504
VI 引当外賞与増加見積額		
		△ 698,715
VII 引当外退職給付増加見積額		
		29,844,883
VIII 機会費用		
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された		
使用料による賃借取引の機会費用	7,646,393	
地方公共団体出資の機会費用	24,631,156	32,277,549
IX 行政サービス実施コスト		
		1,138,736,971

## 注記事項

### I 重要な会計方針

#### 1. 運営費交付金収益の計上基準

期間進行基準を採用しております。

なお、退職一時金については費用進行基準を採用しております。

#### 2. 減価償却の会計処理方法

##### (1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

耐用年数については、法人税法上の耐用年数を基準とし、設立団体から承継した固定資産については承継時の残存耐用年数で減価償却しております。

主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建物	1～47年
建物附属設備	1～14年
構築物	33年
機械装置	6～15年
工具器具備品	1～6年
車輛運搬具	4年

ただし、リース資産については、リース期間を耐用年数とする定額法としております。

また、特定の償却資産(地方独立行政法人会計基準第85)の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として、資本剰余金から控除して表示しております。

##### (2) 無形固定資産

定額法を採用しております。なお法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。

#### 3. 引当金および見積額の計上基準

##### (1) 賞与については、運営費交付金により財源措置がなされるため、賞与引当金は計上しておりません。

なお、行政サービス実施コスト計算書の引当外賞与増加見積額は、年度末の引当外賞与見積額から、前年度末の同見積額を控除した額を計上しております。

##### (2) 退職一時金については、運営費交付金により財源措置がなされるため、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

なお、行政サービス実施コスト計算書の引当外退職給付増加見積額は、地方独立行政法人会計基準第87第4項に基づき計算された退職一時金に係る退職給付引当金の当期増加額を計上しております。

#### 4. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

##### (1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計上方法

近隣の賃借利用料相当額を参考として計算しております。

##### (2) 地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

財務省が公開している決算日における10年物新発国債の利回りを参考に0.67%で計算しております。

#### 5. リース取引の会計処理

リース料総額が300万円以上のファイナンスリース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

#### 6. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。



## II 貸借対照表関係

### 1. 賞与見積額

運営費交付金から充当されるべき賞与見積額 42,278,809 円

### 2. 退職給付見積額

運営費交付金から充当されるべき退職給付見積額 283,988,430 円

(秋田市からの派遣職員に対する退職給付見積額は、上記金額から除いております。)

## III キャッシュ・フロー計算書関係

### 1. 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金 134,492,929 円

資金期末残高 134,492,929 円

### 2. 重要な非資金取引

#### (1) 現物寄附物品の受入

図書 843,259 円

合計 843,259 円

## IV 行政サービス実施コスト計算書関係

1. 引当外退職給付増加見積額の中には、秋田市からの派遣職員に係るものも含まれております。

### 2. 機会費用の内訳

機会費用はすべて設立団体に係る額となっております。

## V 減損関係

該当する事項はありません。

## VI 重要な債務負担行為

該当する事項はありません。

## VII 金融商品関係

### 1. 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については、預金に限定しております。

### 2. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

(単位:円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	134,492,929	134,492,929	-
(2) 長期未払金			
長期リース債務	(36,222,192)	(36,629,836)	(407,644)
(3) 未払金	(632,288,285)	(633,516,058)	(1,227,773)
短期リース債務	(23,565,994)	(24,793,767)	(1,227,773)
その他の未払金	(608,722,291)	(608,722,291)	-

(注1) 負債に計上されているものについては()で示しております。

(注2) 金融商品の時価算定方法

#### (1) 現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (2) 長期未払金 (3) 未払金

これらの時価のうちリース債務については、元利金の合計額を新規に同様のリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算出する方法により算定しております。それ以外の時価については、短期間で決済されるため、帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## VIII 賃貸等不動産

該当する事項はありません。

## IX 重要な後発事象

該当する事項はありません。

# 附 属 明 细 书

1. 固定資産の取得及び処分、減価償却費の明細表(「第85 特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)並びに減損損失の明細

(単位:円)

資産の種類	勘定科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期 期末残高
						当期償却額		当期損益内	当期損益外	
有形固定資産 (特定償却資産)	建物	3,088,047,703	822,787,587	183,847	3,910,651,443	587,930,266	94,990,539	-	-	3,322,721,177
	構築物	8,863,001	9,960,112	-	18,823,113	643,304	593,820	-	-	18,179,809
	機械装置	-	2,744,280	-	2,744,280	200,102	200,102	-	-	2,544,178
	工具器具備品	7,560,000	9,566,640	-	17,126,640	2,393,998	1,511,999	-	-	14,732,642
	小計	3,104,470,704	845,058,619	183,847	3,949,345,476	591,167,670	97,296,460	-	-	3,358,177,806
有形固定資産 (特定償却資産以外)	建物	72,878,173	7,854,528	-	80,732,701	9,370,769	4,573,559	-	-	71,361,932
	構築物	7,485,376	-	-	7,485,376	1,012,329	270,497	-	-	6,473,047
	機械装置	22,099,464	-	-	22,099,464	6,428,487	2,081,133	-	-	15,670,977
	工具器具備品	194,057,186	-	3,995,058	190,062,128	130,512,540	29,627,874	-	-	59,549,588
	図書	225,841,236	7,849,199	-	233,690,435	-	-	-	-	233,690,435
	車輛運搬具	2,205,000	-	-	2,205,000	2,204,999	551,252	-	-	1
	小計	524,566,435	15,703,727	3,995,058	536,275,104	149,529,124	37,104,315	-	-	386,745,980
非償却資産	土地	645,000,000	-	-	645,000,000	-	-	-	-	645,000,000
	美術品・收藏品	47,187,931	-	-	47,187,931	-	-	-	-	47,187,931
	建設仮勘定	37,763,280	-	37,763,280	-	-	-	-	-	-
	小計	729,951,211	-	37,763,280	692,187,931	-	-	-	-	692,187,931
有形固定資産合計	土地	645,000,000	-	-	645,000,000	-	-	-	-	645,000,000
	建物	3,160,925,876	830,642,115	183,847	3,991,384,144	597,301,035	99,564,098	-	-	3,394,083,109
	構築物	16,348,377	9,960,112	-	26,308,489	1,655,633	864,317	-	-	24,652,856
	機械装置	22,099,464	2,744,280	-	24,843,744	6,628,589	2,281,235	-	-	18,215,155
	工具器具備品	201,617,186	9,566,640	3,995,058	207,188,768	132,906,538	31,139,873	-	-	74,282,230
	図書	225,841,236	7,849,199	-	233,690,435	-	-	-	-	233,690,435
	美術品・收藏品	47,187,931	-	-	47,187,931	-	-	-	-	47,187,931
	車輛運搬具	2,205,000	-	-	2,205,000	2,204,999	551,252	-	-	1
	建設仮勘定	37,763,280	-	37,763,280	-	-	-	-	-	-
	合計	4,358,988,350	860,762,346	41,942,185	5,177,808,511	740,696,794	134,400,775	-	-	4,437,111,717
無形固定資産	ソフトウェア	13,650,000	623,700	-	14,273,700	10,919,996	2,729,999	-	-	3,353,704
	合計	13,650,000	623,700	-	14,273,700	10,919,996	2,729,999	-	-	3,353,704
投資その他の資産	敷金・保証金	85,000	-	-	85,000	-	-	-	-	85,000
	合計	85,000	-	-	85,000	-	-	-	-	85,000

注1 建物の当期増加額830,642,115円の主な内訳は、大学院棟建設工事715,225,153円、臨時校舎整備57,119,283円です。

2. たな卸資産の明細

(単位:円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・振替	その他	払出・振替	その他		
切手類	7,088	77,132	-	65,753	-	18,467	
計	7,088	77,132	-	65,753	-	18,467	

3. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細

該当事項はありません。

4. 資本金及び資本剰余金の明細

(単位:円)

区 分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	地方公共団体出資金	3,608,210,000	-	-	3,608,210,000	
	計	3,608,210,000	-	-	3,608,210,000	
資本剰余金	資本剰余金					
	市からの譲与	37,749,931	-	-	37,749,931	
	施設費	150,261,014	845,058,619	-	995,319,633	注1
	寄附金等	520,000	-	-	520,000	
	目的積立金	2,987,690	-	-	2,987,690	
	損益外固定資産除却相当額	△ 3,070,000	△ 183,847	-	△ 3,253,847	注2
	計	188,448,635	844,874,772	-	1,033,323,407	
	損益外減価償却累計額	△ 493,884,553	△ 97,296,460	△ 13,343	△ 591,167,670	注3
	計	△ 493,884,553	△ 97,296,460	△ 13,343	△ 591,167,670	
	差引計	△ 305,435,918	747,578,312	△ 13,343	442,155,737	

注1 施設費により有形固定資産を取得したことによる増加であります。

注2 特定償却資産を除却したことによる減少であります。

注3 特定償却資産の減価償却による増加および除却による減少であります。

5. 積立金等の明細及び目的積立金の取り崩しの明細

①積立金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
地方独立行政法人法第40条第3項積立金 (目的積立金)	54,892,461	13,087,855	9,101,909	58,878,407	注1、2
計	54,892,461	13,087,855	9,101,909	58,878,407	

注1 目的積立金の当期増加額は、前期利益処分による増加であります。

注2 目的積立金の当期減少額は、②のとおりであります。

②目的積立金の取崩しの明細

(単位:円)

積立金の名称及び事業名	教育研究の質の向上および 組織運営の改善目的積立金	計	摘 要
	教育設備等整備経費		
教育経費			
消耗品費	3,866,605	3,866,605	
備品費	4,031,990	4,031,990	
小 計	7,898,595	7,898,595	
研究費			
消耗品費	858,428	858,428	
小 計	858,428	858,428	
一般管理費			
消耗品費	344,886	344,886	
小 計	344,886	344,886	
中期目標期間終了時の 積立金への振替額	-	-	
合 計	9,101,909	9,101,909	

6. 運営費交付金債務及び運営費交付金収益の明細

①運営費交付金債務

(単位:円)

交付年度	期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費 交付金収益	資産見返 運営費交付金	資本剰余金	小計	
平成28年度	-	846,931,000	840,276,749	6,654,251	-	846,931,000	-
計	-	846,931,000	840,276,749	6,654,251	-	846,931,000	-

②運営費交付金収益

(単位:円)

業務等区分	平成28年度交付分	合計	摘要
期間進行基準	799,312,197	799,312,197	
費用進行基準	40,964,552	40,964,552	
計	840,276,749	840,276,749	

## 7. 運営費交付金以外の地方公共団体等からの財源措置の明細

## ①施設費の明細

(単位:円)

区分	当期交付額	当期振替額			摘要
		建設仮勘定 見返施設費	資本剰余金	収益計上	
公立大学法人施設整備費補助金 (大学院設置支援経費)	秋田市 736,158,738	-	696,988,625	39,170,113	
公立大学法人施設整備費補助金 (高圧受電盤真空遮断器更新)	秋田市 1,598,400	-	1,598,400	-	
公立大学法人施設整備費補助金 (拡声機器更新)	秋田市 3,780,000	-	3,780,000	-	
公立大学法人施設整備費補助金 (厚生棟厨房機器類更新)	秋田市 5,508,000	-	2,744,280	2,763,720	
公立大学法人施設整備費補助金 (臨時校舎整備)	秋田市 57,348,000	-	57,119,283	228,717	
公立大学法人施設整備費補助金 (エレベーター耐震化改修)	秋田市 16,100,000	-	14,616,080	1,483,920	
公立大学法人施設整備費補助金 (中央監視システム更新工事)	秋田市 17,712,000	-	17,712,000	-	
公立大学法人施設整備費補助金 (自動火災報知設備更新)	秋田市 12,736,671	-	12,736,671	-	
公立大学法人施設整備費補助金 (防火シャッター耐震化改修)	秋田市 1,663,200	-		1,663,200	
公立大学法人施設整備費補助金 (照明設備LED化更新)	秋田市 49,134,600	-		49,134,600	
計	901,739,609	-	807,295,339	94,444,270	



②補助金等の明細

(単位:円)

区分		当期交付額	当期振替額					摘要
			建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	預り補助金等	収益計上	
文化芸術振興費補助金 (大学を活用した文化芸術推進事業)	文化庁	15,603,965	-	-	-	-	15,603,965	
秋美アートプロジェクト推進事業交付 金	秋田市	9,944,352	-	-	5,036,323	-	4,908,029	
計		25,548,317	-	-	5,036,323	-	20,511,994	

## 8. 役員及び教職員の給与の明細

(単位:円、人)

区 分		報酬又は給与		退職給付	
		支給額	支給人員	支給額	支給人員
役 員	常 勤	41,442,829	4	14,917,723	2
	非常勤	540,000	1	-	-
	計	41,982,829	5	14,917,723	2
教 員	常 勤	391,841,018	54	26,046,829	6
	非常勤	29,781,412	27	-	-
	計	421,622,430	81	26,046,829	6
職 員	常 勤	149,119,543	21		
	非常勤	55,557,858	24	-	-
	計	204,677,401	45	-	-
合 計	常 勤	582,403,390	79	40,964,552	8
	非常勤	85,879,270	52	-	-
	計	668,282,660	131	40,964,552	8

注1 役員に対する報酬等の基準、教職員に対する給与および退職手当の支給基準の概要は、公立大学法人秋田公立美術大学役員の報酬に関する規程、公立大学法人秋田公立美術大学役員退職手当規程、公立大学法人秋田公立美術大学職員給与規程および公立大学法人秋田公立美術大学職員の退職手当に関する規程に基づき支給しております。

注2 支給人員数は、報酬又は給与については年間平均支給人員数で算出、退職給付については年間支給人員数で算出しております。

注3 職員には、秋田市からの派遣職員給与を含みます。

注4 本表の支給額合計には、受託研究費および受託事業費で支出した人件費は含まれておりません。

注5 本表の支給額合計には、法定福利費は含まれておりません。

## 9. 業務費及び一般管理費の明細

(単位:円)

教育経費		
消耗品費	44,095,274	
備品費	17,620,803	
印刷製本費	10,079,322	
水道光熱費	42,441,394	
旅費交通費	11,548,559	
通信運搬費	1,115,968	
賃借料	3,364,230	
保守費	10,318,017	
修繕費	53,762,159	
損害保険料	558,204	
広告宣伝費	1,134,000	
諸会費	109,610	
報酬・委託・手数料	37,323,545	
奨学費	7,428,675	
減価償却費	12,736,312	
雑費	1,468,477	
交際費	125,278	255,229,827
研究経費		
消耗品費	8,658,630	
備品費	2,452,048	
印刷製本費	7,688,939	
水道光熱費	4,736,144	
旅費交通費	5,617,282	
通信運搬費	361,559	
賃借料	1,085,292	
車両燃料費	0	
保守費	1,516,937	
修繕費	1,389,536	
損害保険料	117,290	
広告宣伝費	174,830	
諸会費	647,748	
学会費	403,961	
報酬・委託・手数料	16,246,454	
減価償却費	896,518	
雑費	20,574	52,013,742
教育研究支援経費		
消耗品費	2,652,420	
備品費	1,112,184	
水道光熱費	2,831,922	
旅費交通費	193,520	
通信運搬費	20,715	
賃借料	937,908	
保守費	16,565,851	
修繕費	559,764	
損害保険料	10,715	
諸会費	206,000	
報酬・委託・手数料	2,005,319	
租税公課	2,530	
減価償却費	17,936,551	
雑費	99,420	
交際費	4,500	45,139,319
受託研究費		
消耗品費	3,620,538	
備品費	543,964	
印刷製本費	824,380	
旅費交通費	78,950	
通信運搬費	301,253	
賃借料	346,382	
損害保険料	27,035	
広告宣伝費	174,960	
報酬・委託・手数料	2,306,709	
雑費	26,300	
臨時職員人件費	4,918,296	13,168,767
受託事業費		
消耗品費	1,927,682	
印刷製本費	424,122	
旅費交通費	342,655	
通信運搬費	25,294	
損害保険料	13,000	
報酬・委託・手数料	2,373,891	5,106,644

(単位:円)

役員人件費			
報酬	32,195,314		
賞与	9,787,515		
退職給付費用	14,917,723		
法定福利費	8,056,508	64,957,060	64,957,060
教員人件費			
常勤教員			
給料	295,298,833		
賞与	96,542,185		
退職給付費用	26,046,829		
法定福利費	83,782,727	501,670,574	
非常勤教員			
給料等	29,781,412		
法定福利費	33,619	29,815,031	531,485,605
職員人件費			
常勤職員			
給料	116,591,075		
賞与	32,528,468		
退職給与費用			
法定福利費	26,858,956	175,978,499	
非常勤職員			
給料等	55,557,858		
法定福利費	9,967,313	65,525,171	241,503,670
一般管理費			
消耗品費		10,567,811	
備品費		4,743,346	
印刷製本費		4,073,220	
水道光熱費		2,864,853	
旅費交通費		6,516,440	
通信運搬費		3,242,123	
賃借料		4,832,651	
車両燃料費		502,155	
福利厚生費		8,306	
保守費		1,221,454	
修繕費		492,802	
損害保険料		126,290	
広告宣伝費		3,702,203	
諸会費		1,655,579	
報酬・委託・手数料		11,898,044	
銀行手数料		315,694	
租税公課		866,970	
減価償却費		9,222,081	
雑費		108,080	
交際費		413,279	67,373,381

## 10. 寄附金の明細

(単位:円、件)

区 分	当期受入額		件数	摘 要
	寄附金収益	資産見返寄附金・資本剰余金		
大 学	200,000	843,259	248	現物寄附843,259円(247件)、 うち、科研費528,981円 63件含む
合 計	200,000	843,259	248	

## 11. 受託研究の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
大 学	-	14,369,000	14,369,000	-
合 計	-	14,369,000	14,369,000	-

## 12. 受託事業等の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期受入額	受託事業等収益	期末残高
大 学	-	6,104,575	6,104,575	-
合 計	-	6,104,575	6,104,575	-

## 13. 科学研究費補助金の明細

(単位:円、件)

種目	当期受入額	件数	摘 要
基盤A一般	(150,000) 45,000	1	
基盤B一般	(370,000) 111,000	2	
基盤C一般	(3,400,000) 1,020,000	5	
合 計	(3,920,000) 1,176,000	8	

注 間接経費相当額を記載し、直接経費相当額については、外数として括弧内に記載しております。

14. 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

①現金及び預金の明細 (単位:円)

区 分	金 額
現金	60,006
小口現金	-
普通預金	134,432,923
定期預金	-
合計	134,492,929

②未収金の明細 (単位:円)

区 分	金 額
秋田市	539,984,560
文化庁	15,603,965
東日本旅客鉄道(株)	1,080,000
秋田県	898,128
その他	776,470
合計	558,343,123

③資産見返物品受贈額の明細 (単位:円)

区 分	金 額
図書	201,727,978
ソフトウェア	2,730,004
機械装置	6,645,953
構築物	6,069,016
車両運搬具	1
合計	217,172,952

④未払金の明細 (単位:円)

相 手 方	金 額
三菱マテリアル電子化成株式会社	405,648,000
株式会社加島電気工事	29,484,600
羽後設備株式会社	21,600,000
(株)松田平田設計	15,541,200
羽後電設工業(株)	13,915,800
東北化学薬品(株)秋田支店	8,164,800
エイデイケイ富士システム(株)	8,018,902
(有)萩原製作所	5,472,792
(株)みどり光学社	3,982,340
(株)アイネックス	3,840,588
秋田中央印刷(株)	3,058,560
(株)シービジョンズ	2,995,704
(株)イシカワ	2,887,325
明和ハウス工業株式会社	2,499,390
吉田ビニール(株)	2,446,200
東北電力(株)秋田営業所	2,303,329
その他	76,862,761
合計	608,722,291

⑤預り金の明細 (単位:円)

区 分	金 額
大学後援会	17,290,631
給与預り金	4,310,859
あきびネット	2,149,079
事務局親和会	912,968
あきび会	293,698
その他	586,854
合計	25,544,089

平成28年度

# 事業報告書

自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日

公立大学法人 秋田公立美術大学

## はじめに

秋田公立美術大学は、新たな芸術の創造、世界へ発信するグローバルな人材育成など、4つの基本理念のもと、平成25年4月にスタートした。

この報告書は、公立大学法人秋田公立美術大学の中期計画に基づく平成28年度計画の主な業務実績をまとめたものである。

### 1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

#### (1) 教育に関する目標を達成するための措置

入学者選抜試験に関しては、前年に引き続き専攻の枠組みにとらわれない一括選抜（総合選抜）を実施し、391名が出願し104名が入学した。

教育課程の編成に関しては、1・2年次に「教養科目」「専門共通科目」を中心に基礎的な知識を総合的・網羅的に学び、3・4年次に「専門専攻科目」で高度な専門知識を学ぶ構成としたほか、卒業後の社会的自立のために「キャリア科目」を置いた。

さらに、教員および学芸員の養成のため、「教職課程科目」「博物館・学芸員課程科目」を置いたほか、「教職および博物館学芸員課程委員会」等を設置し、具体的計画の立案、大学外の関係機関との連絡調整などを行った。

教育の実施体制関連では、各専門分野に実績を持つ客員教授4人を登用し、本学の学生や市民を対象に特別講義などを実施した。

地域の発展に貢献する教育としては、地域からの要望を積極的に学生に公開し、銀行カレンダー表紙、ねんりんピック弁当箱デザイン等の制作に取り組むなど、学生の地域社会の発展に貢献する意識を醸成した。

学生の確保については、オープンキャンパスの実施や高校等への訪問などを行うとともに、大学案内パンフレットを作成するなど情報発信やPRに努めた。

教育環境の整備については、講義棟の灯具をLED化したほか、不足している教育スペース確保のためプレハブ棟を新築した。また、引き続き、全学で無線LANをはじめとするネットワーク環境がストレス無く使用出来るように運用した。

#### (2) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

学習支援関連では、「授業欠席学生連絡票」を用いて、必修科目において授業回数の5分の1を欠席した学生に対して、クラス担任又は専攻教員が欠席理由を確認し、事務局と連携して学生指導に当たる制度を構築し、運用を開始したほか、学生の学習相談等に対応するため、平成26年10月からオフィスアワーを実施し、28年度は昨年度実施結果を検証し、より学生が相談しやすい時間帯を設定するよう勧奨した。また、前年度成績等により優秀な成績を収めた学生6名を特待生として選定し、奨学金各20



万円を給付したほか、学生がサテライトセンターやアトリエももさだ等で行った作品展に後援会と連携して支援するなどして、学習意欲の向上を図った。

生活支援関連では、定期健康診断や臨床心理士による相談を実施したほか、感染性疾患の防止、窃盗被害防止、不審者情報など、健康・生活に関する情報を積極的に提供した。また、充実した課外活動ができるよう、新たにプレハブ南棟の学生の制作スペースを確保したほか、大学祭への支援などを行った。

進路支援関連では、就職支援スタッフ2名によるキャリアカウンセリングを実施したほか、外部の専門講師によるカウンセリングガイダンスを4回開催し、学生へ個別対応を行ったほか、関東の大規模企業合同説明会への現地ガイダンスを1回実施し、企業関係者を招いたキャリアガイダンス等を24回した。3年次後期には支援に必要な詳細な進路調査を実施した。また、就職活動の閲覧を効果的にするため、アトリウム棟ラウンジに常設の就職情報スペースを活用し、就職関連情報を掲示するとともに学生の面談を行いサポートしたほか、個別訪問や合同企業説明会参加により248社を対象に、採用計画や求める人材の要件等について調査を行った。

### (3) 研究に関する目標を達成するための措置

科学研究費関連では、教職員を対象とした科研費勉強会を学内で行うなどした結果、科研費申請が6件あり、うち1件が採択された。科研費以外の外部資金については、文化庁の「平成28年度大学を活用した文化芸術推進事業」が採択された。

教員の作品発表に関しては、15名の教員が秋田のほか、東京や海外の美術館等で作品発表を行った。

また、公募への入賞等の状況については、以下のとおりであった。

- ・ 第29回公募2016日本ジュエリー展において入選
- ・ 第56回東日本伝統工芸展において漆工芸で入選
- ・ 第34回日本伝統漆芸展において入選

### (4) 社会貢献に関する目標を達成するための措置

市民がガラス工芸に触れる機会をつくるため、あきたガラスプロジェクトおよびあきたガラスフェスタを開催し、国内外のガラス作家による制作現場公開、講演会および吹きガラス制作体験を行った。

また、本学と連携協力協定を締結している秋田ケーブルテレビ本社内の美大スペース「BIYONG POINT」において、本学教員を中心とした研究成果を発表する展示会を実施した。

このほか、受託事業として大森山動物園アートギャラリー事業、産業デザイン人材育成事業、秋田駅観光拠点等整備に伴うデザイン監修業務、たざわ湖スキー場2016～2017シーズン広報ポスター及びパンフレット表紙のデザイン、2017FISフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会におけるポスターのデザイン制作、秋田市新庁舎お祝いフォトコーナーパネルデザイン、秋田商工会議所創立110周年記念ロゴマーク制作などを実施した。

また、社会貢献センターにおいて、子どもアトリエ、社会人向けデッサンスクール、

アートスクール、デッサン講習会、公開講座、講演会を行うなど市民向けの生涯学習支援企画を引き続き実施した。

#### (5) 国際交流に関する目標を達成するための措置

国際交流事業として、台南応用科技大学（台湾）の教員訪問を受け入れたほか、ハワイ大学マノア校（米国）、エミリー・カー美術大学（カナダ）、サイモン・フレイザー大学（カナダ）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、ウルサン大学（韓国）、ペクソク大学（韓国）、タングク大学（韓国）を視察し、今後の国際交流のあり方について意見交換を行った。

### 2 業務運営の改善および効率化に関する目標を達成するための措置

#### (1) 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置

理事会を16回開催し、学内の情報共有とスムーズで迅速な意思決定を行った。

また、部局長等連絡会、専攻長等会議および学部共有会を開催し、学内の情報共有を図った

#### (2) 人事の適正化に関する目標を達成するための措置

今後のプロパー職員の採用について検討し、公募により3名（一般事務2名、司書1名）を採用した。

#### (3) 事務等の効率化に関する目標を達成するための措置

効率的な事務を行うため、規程、要綱のほか、事務処理のマニュアルを整備した。

また、事務職員の資質向上の取り組みとして、学内研修のほか各種研修へ参加させ、組織力の向上を図った。

### 3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

#### (1) 外部研究資金その他自己収入の確保に関する目標を達成するための措置

教員を対象として、科研費に関する研究支援セミナーを行い、周知に努めた。また、学外の競争的研究資金に関する調査を行い、ポータル掲示板、学内ノーツ掲示板インフォメーション等で周知を行った。その結果、科研費については6件の申請があり、うち1件（合計4,420千円）が採択されるなど自己収入の確保を図った。

#### (2) 経費の効率化に関する目標を達成するための措置

物品の購入について、翌月末の一括支払いを徹底し、振込手数料を抑制した。また、物品の購入手続きの際、インターネットを活用して価格的に有利な業者との取引を進め、引き続き経費の削減を図った。

### (3) 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置

27年度に行われた秋田市監査委員による地方自治法第199条第7項の規定に基づく出資団体監査において、改善要望事項として「ペイオフ対策」についての検討が求められたことや、日本銀行の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」が導入されたことから、1千万円を超える普通預金および定期預金への預け入れは、メリットがわずかである一方で、それを上回るリスクがあるため、リスク回避を目的として、全額保護の対象となる決済用普通預金（無利息）へ切り替えた。このため、28年度においては、安全性を最優先として積極的な運用を行わなかった。

その他資産については、社会貢献センター（アトリエももさだ）、体育館、駐車場の有償貸付など、有効活用を進めた。

## 4 自己点検・評価および情報の提供に関する目標を達成するための措置

### (1) 評価の充実に関する目標を達成するための措置

秋田市が策定した評価方針に基づき、自己評価委員会において、年度計画の自己評価を行った。

### (2) 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置

情報公開に関しては、大学ホームページ上で中期計画、各種規程の公開を行うとともに、教員および学生の教育研究活動の発表である展示会情報などを、ホームページを活用し、積極的に情報発信した。

教育成果物の展示に関しては、教員の作品展示として、「PolyPlanet Company-おもちゃであそぶ-」、ものづくりデザイン専攻教員による「第4回「湧水地点」ten three」などをサテライトセンター、BYONGPOINTで開催した。

また、学生の作品展示として、3年次生の三年生作品展および4年次生の卒業研究作品展を秋田県立美術館県民ギャラリー、秋田市にぎわい交流館AU、明德館ビル2階カレッジプラザおよびアラヤニノで開催した。

## 5 その他業務運営に関する重要事項に関する目標を達成するための措置

### (1) 施設・設備の整備および活用に関する目標を達成するための措置

長期修繕計画に基づき、自動火災報知器設備更新、放送設備更新、中央監視システム更新、講義棟他灯具LED化、厚生棟厨房機器類の更新等を実施した。

### (2) 大学支援組織等との連携に関する目標を達成するための措置

「あきびネット」会員と大学役員・教職員との情報交換会を6月21日、意見交換会を1月16日に開催したほか、学生向け講演会を1回開催した。また、あきびネット奨学金の奨学生として7団体を決定した。

同窓会と効果的に連携するため、同窓会役員と事務局との情報交換会議を開催した。

(3) 安全管理に関する目標を達成するための措置

事故、災害、感染症等緊急時に対応する危機管理マニュアルについて、学内電子掲示板へ掲載することにより、教職員等へ周知した。さらに、学生および教職員による避難訓練を実施（11月14日）し、災害時の対応について確認した。

(4) 人権擁護・法令遵守に関する目標を達成するための措置

人権擁護に関しては、教職員に対しハラスメント防止に関する研修を昨年度に引き続き実施した。

法令遵守に関しては、教職員に対し会計事務に関するマニュアルの改訂版を作成し配布するとともに、不正経理防止を図るための研修を昨年度に引き続き実施した。

平成 2 8 年度

決算報告書

第 4 期事業年度決算

自 平成 2 8 年 4 月 1 日

至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

公立大学法人 秋田公立美術大学

## 平成28年度 決算報告書

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考	
収入	運営費交付金	857,271,000	846,931,000	△10,340,000	※1
	諸補助金	-	25,548,317	25,548,317	※2
	自己収入	281,309,000	273,760,226	△7,548,774	
	授業料、入学検定料及び入学料	274,609,000	266,956,425	△7,652,575	※3
	授業料	223,696,000	214,073,625	△9,622,375	
	入学金	43,569,000	46,981,200	3,412,200	
	検定料	7,344,000	5,901,600	△1,442,400	
	その他収入	6,700,000	6,803,801	103,801	
	受託研究等事業収入	2,000,000	20,734,575	18,734,575	
	寄附金収入	-	200,000	200,000	
	目的積立金取崩	10,000,000	9,101,909	△898,091	
	施設整備費補助金収入	941,220,000	901,739,609	△39,480,391	
		2,091,800,000	2,078,015,636	△13,784,364	
支出	業務経費	1,281,314,000	1,228,002,451	△53,311,549	
	教育研究費	1,176,186,000	1,129,103,548	△47,082,452	※4
	一般管理費	105,128,000	98,898,903	△6,229,097	※5
	受託等事業費	2,000,000	18,275,411	16,275,411	
	寄附金事業	-	200,000	200,000	
	人件費	808,486,000	837,946,335	29,460,335	※6
	2,091,800,000	2,084,424,197	△7,375,803		
収入-支出	-	△6,408,561	△6,408,561		

【予算との差異について】



- ※1 秋美アートプロジェクト推進事業交付金への振替による。
- ※2 補助事業の実施による。
- ※3 授業料、入学検定料の見込みの減による。
- ※4 施設整備事業の実施等による。
- ※5 業務委託仕様の見直し等による。
- ※6 時間外手当の増等による。

## 監査報告書

平成 29 年 6 月 29 日

公立大学法人秋田公立美術大学  
理事長 霜 鳥 秋 則 様

公立大学法人秋田公立美術大学

監事 竹田 勝美 監事 高井 宏司 

私ども監事は、地方独立行政法人法第 13 条第 4 項および同法第 34 条第 2 項の規定に基づき、公立大学法人秋田公立美術大学の平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業年度における業務について監査を実施いたしました。その結果について、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法の概要

私ども監事は、一般に認められた監査手法に従い、役員（監事を除く。以下同じ。）等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧し、事務局等において業務及び財産の状況を調査しました。また、財務諸表、事業報告書及び決算報告書について検討を加えました。

## 2 監査の結果

- (1) 財務諸表(利益の処分に関する書類(案)を除く。)は、財政状態、運営状況、キャッシュフローの状況及び行政サービス実施コストの状況を適正に表示しているものと認めます。
- (2) 利益の処分に関する書類(案)は、法令に適合しているものと認めます。
- (3) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (4) 事業報告書は、業務運営の状況を正しく示していると認めます。
- (5) 決算報告書は、予算の区分にしたがって決算の状況を正しく示していると認めます。
- (6) 役員職務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは規程に違反する重大な事実はありません。

以上